三次市立学校施設の耐震診断及び耐震化事業状況について

学校施設は、児童・生徒等が一日の大半を過ごす学習や生活の場であるとともに、災害発生時においては地域住民の 避難場所としての役割も果たすことから、十分な耐震性を確保する必要があります。

対象となる学校施設の耐震診断結果及び、耐震化事業の実施状況を次のとおり公表します。

平成28年5月 三次市教育委員会

三次市立学校施設の耐震診断及び耐震化事業の状況

小学校

学校名	用途	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	区分	診断年度	Is 値	q値 (*はCT× SD値)	改修年度	改修後 Is 値	改修後Q値	特記事項
河内小学校	校舎	H2年2月	R	3	1,627	新基準	_	_	_		_	_	
	屋体	H14年2月	R	1	573	新基準	_	_	_			_	
三次小学校	校舎	S53年8月	R	4	3,420	旧基準	H19	0.28	1.00	H21	0.76	1.29	
	校舎	S53年8月	R	3	787	旧基準	H19	0.45	0.80	H21	0.81	1.40	
	屋体	S61年1月	R	1	981	新基準	_	l		-	_	_	
粟屋小学校	校舎	S57年2月	R	3	1,706	新基準	_	I		1		_	
	屋体	S57年12月	S	2	685	新基準	_		_	_	_	_	
十日市小学校	校舎	S54年8月	R	4	5,595	旧基準	H19	0.32	1.03	H23	0.80	1.33	
	屋体	S59年2月	R	2	1,198	新基準	_	l		-	_	_	
八次小学校	校舎	S55年7月	R	4	3,573	旧基準	H19	0.47	1.23	H24	0.78	2.00	
	校舎	S57年2月	R	4	363	新基準	_		_	_	_	_	
	校舎	H8年3月	R	4	881	新基準	_	_		_	_		
	校舎	H13年3月	R	3	1,032	新基準	_	_	_	_	_	_	
	屋体	S60年1月	R	1	981	新基準	_	_	_	_	_	_	
酒河小学校	校舎	S51年3月	R	3	1,535	旧基準	H20	0.55	1.29	H25	0.77	1.28	
	校舎	H10年2月	S	3	225	新基準	_				_	_	
	校舎	H25年12月	R	3	1,302	新基準	_	_	_	_	_	_	
	屋体	S51年11月	S	1	540	旧基準	H20	0.75	1.38				改修不要

学校名	用途	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	区分	診断年度	Is 値	q値 (*はCT× SD値)	改修年度	改修後 Is 値	改修後Q値	特記事項
青河小学校	校舎	H7年2月	R	2	1,319	新基準					_		
	屋体	H2年3月	R	1	561	新基準	_						
神杉小学校	校舎	H3年3月	R	3	1,855	新基準							
	屋体	H15年2月	R	1	637	新基準							
田幸小学校	校舎	S63年3月	R	3	2,019	新基準	_						
	屋体	H11年2月	R	1	598	新基準							
和田小学校	校舎	H1年3月	R	3	2,005	新基準							
	屋体	H6年2月	R	1	561	新基準	_						
川地小学校	校舎	H4年3月	R	3	1,839	新基準							
	屋体	H12年2月	R	1	573	新基準				1		1	
川西小学校	校舎	H5年3月	R	3	1,822	新基準							
	屋体	H3年2月	R	1	561	新基準		I		1			
甲奴小学校	校舎	S49年3月	R	2	1,000	旧基準	H20	0.22	0.92	H22	0.76	2.14	
	校舎	S49年9月	R	2	942	旧基準	H20	0.22	0.92	H22	0.76	2.14	
	屋体	H8年2年	S	1	797	新基準	_		_	_	_	_	
小童小学校	校舎	S62年2月	R	2	1,341	新基準	_	l		-	_		
	屋体	S62年12月	S	2	734	新基準	_	l		-	_		
君田小学校	校舎	S62年3月	R	2	2,216	新基準			_	_	_		
	屋体	H15年3月	R	2	1,096	新基準	_	l					
布野小学校	校舎	S53年10月	R	2	1,783	旧基準	H20	0.69	2.07	H24	0.76	1.48	
	屋体	S51年11月	S	2	1,209	旧基準	H20	0.13	0.41	H22	0.90	1.88	

学校名	用途	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	区分	診断年度	Is 値	q値 (*はCT× SD値)	改修 年度	改修後 Is 値	改修後Q値	特記事項
作木小学校	校舎	H11年11月	W	2	1,828	新基準	_	_	_	_	_	_	
	屋体	H14年3月	R	1	1,147	新基準	_	_	_	_	_		
吉舎小学校	校舎	S49年3月	R	2	500	旧基準	H15	0.29	* 0.31	H17	1.11	* 0.38	
	校舎	S50年3月	R	2	2,525	旧基準	H15	0.27	* 0.15	H17	0.96	* 0.30	
	屋体	S50年6月	s	2	740	旧基準	H15	0.30	0.98	H17	0.81	2.44	
安田小学校	校舎	H1年3月	R	2	1,256	新基準	_			1	_		
	屋体	H2年3月	R	1	801	新基準	_			1	_		
八幡小学校	校舎	H3年3月	R	2	1,325	新基準	_	-	ĺ		_	_	
	屋体	H4年3月	R	1	801	新基準	_	-		_	_	_	
みらさか小学校	校舎	H26年12月	R	3	2,154	新基準	_	l		_	_	_	
	屋体	H26年12月	R	1	264	新基準	_	-	ĺ		_	_	
三和小学校	校舎	S47年3月	R	2	1,387	旧基準	H19	0.40	1.26	H21	0.75	1.33	
	校舎	S47年10月	R	2	1,277	旧基準	H19	0.34	1.16	H21	0.82	1.40	
	屋体	S48年3月	s	1	655	旧基準	H19	0.10	0.30	H21	0.90	1.36	

中学校

学校名	用途	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	区分	診断年度	Is 値	q値 (*はCT× SD値)	改修年度	改修後 Is 値	改修後Q値	特記事項
三次中学校	校舎	S58年3月	R	4	536	新基準	_	_	_	_	_	_	
	校舎	S59年5月	R	4	3,309	新基準	_	_	_	_	_	_	
	屋体	S50年3月	S	2	994	旧基準	H20	0.32	0.99	H23	1.05	1.93	
十日市中学校	校舎	S48年3月	R	3	1,321	旧基準	H14	0.42	* 0.45	H24	0.75	2.65	
	校舎	S48年7月	R	3	2,283	旧基準	H14	0.42	* 0.45	H24	0.75	2.65	
	校舎	S58年2月	R	2	721	新基準	_	_	_	_	_	_	
	校舎	H2年2月	R	2	297	新基準	_	_	_	_	_	_	
塩町中学校	校舎	H19年12月	R	2	4,087	新基準	_		_	_	_		
	屋体	H19年12月	R	2	1,369	新基準	_	_	_		_		
川地中学校	校舎	S62年2月	R	2	1,927	新基準	_		_	_	_		
	屋体	S52年11月	S	1	772	旧基準	H20	0.26	0.84	H22	0.77	1.42	
八次中学校	校舎	S63年12月	R	4	3,361	新基準	_		_	_	_		
	屋体	H1年3月	R	1	875	新基準	_	_		_	_	_	
甲奴中学校	校舎	S53年6月	R	2	1,506	旧基準	H15	0.34	* 0.31	H17	0.77	* 0.28	
	校舎	S53年6月	R	1	224	旧基準	H14	1.04	* 0.57	_	_		改修不要
	校舎	H18年3月	R	2	635	新基準	_	_	_	_	_	_	
	寄宿	S57年11月	R	2	328	新基準	_	_	_	_	_	_	(寄宿舎)
君田中学校	校舎	H1年3月	R	3	2,316	新基準	_	_	_	_	_	_	
	校舎	H1年3月	R	2	180	新基準	_			_		_	
	屋体	S49年2月	S	2	785	旧基準	H20	0.25	0.80	H22	0.82	1.61	

学校名	用途	建築年月	構造	階数	面積 (m²)	区分	診断年度	Is 値	q値 (*はCT× SD値)	改修年度	改修後 Is 値	改修後Q値	特記事項
布野中学校	校舎	S46年3月	R	2	1,082	旧基準	H19	0.24	1.06	H22	0.76	2.00	
	屋体	H11年2月	R	1	981	新基準	_	_		_	_	_	
作木中学校	校舎	S63年12月	R	3	2,101	新基準	_				_	_	
	屋体	S63年12月	R	1	1,021	新基準	_						
吉舎中学校	校舎	S55年3月	R	3	2,606	旧基準	H12	0.71	1.01				改修不要
	校舎	S55年3月	R	2	587	旧基準	H12	0.85	1.96				改修不要
	屋体	H8年3月	R	1	939	新基準	_		_	_	_	_	
三良坂中学校	校舎	S53年3月	R	2	741	旧基準	H21	0.51	1.77	H25	0.86	2.78	
	校舎	S54年3月	R	2	732	旧基準	H21	0.41	1.37	H25	0.90	2.89	
	校舎	S54年3月	R	2	205	旧基準	H21	0.74	1.33				改修不要
	校舎	S54年3月	R	2	811	旧基準	H21	0.60	2.09	H25	0.87	2.93	
	校舎	H26年12月	R	3	664	新基準	_	I		1			
	屋体	H26年12月	R	1	335	新基準						_	
三和中学校	校舎	S56年3月	R	3	2,115	旧基準	H17	0.43	1.44	H24	0.75	2.65	
	校舎	S56年3月	R	2	482	旧基準	H17	1.16	1.44				改修不要
	屋体	H1年2月	R	1	804	新基準	_	_	_		_	_	

<用語の解説>

- 1 「構造」欄に「R」とあるのは鉄筋コンクリート造を、「S」とあるのは鉄骨造を、「W」とあるのは木造をいいます。
- 2 「区分」欄に「旧基準」とあるのは、新耐震基準施行(昭和 56 年)以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは新耐震基準施行後に建築 されたものをいいます。
- 3 (1)「新基準」と表示のあるものは、耐震性がありますので、「区分」欄から右の各欄は、すべて「一」となっています。
 - (2) 「旧基準」と表示のあるもののうち、未改修のものについては「第 2 次診断」の「診断年度」・「Is 値」・「q 値又は $CT \times SD$ 値」(後述)の数値を掲げてあります。
 - (3)「旧基準」と表示のあるもののうち、改修済みのものについては上記に加え「改修年度」及び「改修後の Is 値」・「改修後 q 値又は CT× SD 値」をそれぞれの欄に掲げてあります。
- 4 (1)「Is 値」とは、建物全体の耐力や粘りを表す構造耐震指標のことで、数値が大きいほど耐震性能が高いとされます。現行の建築基準と同等の耐震性能があるとされる目標値は 0.7 以上です。 0.3 以上 0.7 未満の場合は地震の震動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性があるとされ、 0.3 未満の場合は地震の震動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が高いとされています。
 - (2)「q値」とは、保有水平耐力に係る指標で、地震による水平方向の力に対して建物が対応する強さを表し、現行の建築基準と同等の耐震性能があるとされる目標値は 1.0 以上とされています。
 - (3)「CT×SD 値」とは、建物にある程度の強度を確保する目的の建物の形状(SD)や累積強度(CT)の指標に関する判定基準で、0.27以上が目標値となります。
- 5 「耐震診断」には、簡略な「第1次診断」と、個別の建物の耐震性能を詳細に評価する「第2次診断」があり、本市の診断はすべて「第2 次診断」の数値です。
- 6 「改修不要」とは、診断の結果「Is 値」が 0.7 以上で、「q 値」が 1.0 以上又は「 $CT \times SD$ 値」が 0.27 以上の場合は耐震性能を満たしている ため、耐震補強工事は必要となりません。